

三島村まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証検討結果

基本目標	主な施策	主な取組内容		重要業績評価指標(KPI)			実績値	対目標	施策の進捗等	今後の方向性	検証会議の意見
				評価指標	基準値 [H27年度]	目標値					
健康で豊かに安らげる特色ある地域をつくり、地域と地域を連携する。	4-① 集落機能の維持と安心・安全な暮らしの実現	災害に強い住環境の整備	台風等の自然災害の対策として玄関ドアの強風仕様への見直し、雨戸がないガラス面については格子の設置。また、強風時の災害誘因となる住宅周りの樹木等の伐採に取り組んだ。	集落整備 マスタープラン による事業推進	-	4地区4事業 (累計)	未実施	-	集落整備マスタープラン作成については未実施。保健・医療・福祉等のサービスにおいて堅実に取り組んでいる。	KPIの早急な確立に努める。いずれの取り組みについても、限られた予算を有効活用して事業を推進していきたい。住民の健康増進を図るべく、介護、医療サービスの充実に努める。	概ね進捗しているものの未実施施策もあり、早急な対応が必要。すべての施策のベースともなる目標であり、引き続き精力的に取り組んでほしい。早く住民のアンケートを実施し見直しされたい。
		福祉住宅等の施設改修を推進	竹島の福祉住宅改修に取り組んだ。								
		へき地診療所に設置している医療機器及び遠隔医療システムの整備並びに電子カルテシステムの導入	医療機器については、使用期限を迎えた機器から計画的な更新を図る。遠隔医療システムは、平成30年度で検討を行い、平成31年度で更新する。電子カルテについては、導入の可能性について検討を行う。								
		介護や保健サービスの充実	平成29年度、大里地区において住民主体の介護予防活動の取組を開始した。また、住民の健康増進のため、各種健診の積極的実施及び保健指導を実施している。								
		島内環境の美化	焼却炉、生ゴミ処理機の適切な稼働を図る。ゴミの分別、リサイクルの推進を図る。								
	4-② 村民一人一人とつながり、豊かさを享受できる環境づくり	社会参加促進、日常生活用具等の給付及び貸与、各種在宅サービス等の推進	各地区において集合形式の老人会食サービスと老人作業を実施。	村民の満足度	53%	58%	未実施	-	KPI(村民の満足度)の向上に向けて各種事業に取り組んでいる。KPI(地域見守りシステム活用)は、システム運用にかかる十分なサービス提供が見込めないことから中止を決定。		
		地域見守り体制の整備	各地区ホームヘルパーによる安否確認を実施。見守りシステムの効果的な運用を図る。	地域見守りシステム利用率	60%	100%	45%	45.0%			
		自給自足の助け合いネットワークの形成	平成29年度で地域内の人材を活用して、住民の困りごとに対応するほか、地域資源を活用した産業の創出・活性化を図る取組として「三島村地域の人事部戦略」を作成した。平成30年度から体制を整え、具体的な運用を目指す。								
		地域住民の特技等の活用化									
	4-③ 3つの島の連携と鹿児島市、南薩地域との連携	3つの島の人的・物的連携の推進	毎年複数回実施している区長会議をさらに充実させ、島間での交流事業(伐採・さつまいも等の植え付け等)を検討する。	島間連携の活動件数	1件	20件(累計)	8件	40.0%	3つの島の連携について、区長会議・出張所長会議・青年会のスポーツ交流等定期的に行っており、他にもさまざまな団体の交流につながっている。		
		鹿児島市と連携	冒険ランドの利用促進に資するため、鹿児島市教育委員会や少年自然の家などの窓口として対応している。集団宿泊学習の説明会に参加し、各校の利便性の向上に取り組んでいる。	広域連携件数	0件	1件(累計)	2件	200.0%			
		航路でつながる南薩地域との人・モノ交流促進	現在、枕崎航路は休止中であるが、今後もヨットレースのスタート地点である枕崎と連携し、航路再開の可能性について検討する。	生産販売活動	月1回	週1回	月1回	25.0%			
三島村出身者と島の生産者との連携		出身者らで組織する「ジーバー倶楽部」が定期的に島の特産品の移動販売を行っており、平成29年度は同グループが鹿児島市内のホテルで開催した観光物産イベントへ支援を行った。						地理的な条件は厳しいが、地道にできることから取り組んでいきたい。また、交流の輪が広がるよう支援していく。			

B